

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1171100629		
法人名	社会福祉法人 椿寿会		
事業所名	シニアレジデンス つばき		
所在地	埼玉県北葛飾郡杉戸町才羽2123		
自己評価作成日	平成23年3月21日	評価結果市町村受理日	平成23年5月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-saitama.net/kaigosip/Top.do
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

天候の良い日は、遠くにスカイツリーや富士山が見える自然環境の中にあり、四季折々の風景や花なども楽しむことができる。開設した当時から職員が多く在籍し、職員配置も充実している。医療との連携ができています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・事業所理念が職員に徹底され、利用者の健康管理と身体機能の維持に向け積極的な取り組みが行われている。歌謡曲や演歌に合わせて手・足を曲げ伸ばす体操や手あそびゲーム、恵まれた施設環境を活かしての庭園やテラスでの散歩・外気浴など、外での時間を多く設けられ、心身ともに健康な生活を過ごされるよう支援されている。又、開設時からの職員が多く在籍し、水分補給や皮膚疾患など利用者の個別ケアにも、きめ細かな対応がなされているほか、食事についても、いつも温かなごはんやお味噌汁などを提供するよう努められるなど、利用者が明るい笑顔で健やかに過ごされるよう実践されている。
 ・H21年度の目標達成計画(災害対策)について、地震・風水害など災害種別及び発生時間ごとのマニュアルが整備され、指定避難場所への避難訓練も行なわれるなど、目標計画の達成に向け取り組まれている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成23年4月12日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時「介護理念」「運営理念」を唱和し共有している。日常生活では、その人らしい生活を送っていただけるように援助している	職員全員で意見を出し合って作成した理念のもと、利用者が健康で、季節を感じながら明るく生き生きと生活されるよう、気配りされたケアが実践されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	サマーコンサートに年1回参加・町の文化際には習字を展示して頂く	町の文化祭への書の出展や障害者・中学生等による定期コンサートの鑑賞、ボランティアとの交流等、地域の方々と日常的に交流をされている。又、事業所催事には自治会役員や地域住民をお招きする等、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう支援されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて呼びかけを実施している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見は参考になり、その都度資料にまとめいかしている	定期的に開催され、事業所からの報告のほか、参加者からも積極的に意見・提案が行なわれ、事業所運営に活かされている。利用者の外出支援の取り組みや感染症・食中毒対策などの話し合いが持たれ、ケアの向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町役場には、行く機会も多く相談や質問など互いに行なえている	事業所からの報告・相談や事務手続き時などのほか、介護相談員の会合時などにもコミュニケーションを図られている。又、運営推進会議でも適宜事業所運営でのアドバイスを頂くなど、良好な協力関係を築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会を行っており職員は正しく理解している。玄関や居室に施錠はしていない。玄関にはセンサーがついている	内部研修が行われ、管理者及び全ての職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について勉強会を行っている。虐待を見逃す事がないように注意を払っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は、活用されている入居者がおり職員は研修等に参加し学ぶ機会を設け、理解する努力をしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項、契約書を理解できるように説明し、疑問点があればいつでも回答できる旨を伝えている。解約時は状況説明し理解して納得頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、行事参加など機会を設け、その時提示された意見提案を運営の参考に行っている	利用者については、日頃の関わりの中で、家族とは運営推進会議や面会・イベント時に意見・要望の聴き取りを行なっている。意見や要望については職員間で話し合い、運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議・年2回の面談	定例会議や個別面談時に意見・提案を聴きとられている。また、言いやすい環境がつけられ、活発に意見・提案が行なわれ、食事メニューやおやつづくりの提案など、具体化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員会議・年2回の面談		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を活用している。施設内において、勉強会を行い職員の質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町の事業者連絡会議などを通じ意見交換を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前には、十分話を伺い、不安が軽減できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前には、見学をしていただき話を伺い不安が軽減できるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が選択できるような対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各入居者の目線に立ち、職員は共に過ごしながら関係が築けるように日々努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、近況を説明し状況を理解して頂き四季の行事への参加を呼びかけ、本人と家族の絆をより強くするよう、心がけている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係は、踏み入れられない部分もある為、十分な支援は行っていないが、面会の時には、また来て下さるような声かけをしている	古くからの友人・知人が面会に見えたり、家族の協力を得ながら、墓参りや行きつけの美容院へ出かけるほか、知人・友人との手紙のやり取りや電話の取り次ぎなど関係が途切れないよう支援されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや会話を密にし互いにコミュニケーションがとれるように関わり合っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても近々に来られた際にはお寄り下さいと声かけをしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族や本人に希望を伺い可能な範囲で行っている。困難な場合は、職員間で話し合い、本人本位に検討している	意志疎通が難しい利用者については入居時の各種情報の振り返りのほか、日々のかかわりの中で声を掛け、言葉や表情・仕草などからその真意を推し図るよう努め、利用者本位に検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前の実態調査時に聞ける範囲で家族や本人から情報を収集する		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や日誌に記録し申し送りをおこない把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を行い、見直し・作成している。定期的な見直しや更新時には本人・家族・必要な関係者と話し合い作成している	利用者や家族には日頃の関わりの中で思いや意向を聴きとり、担当職員のみならず関係する職員全員で意見交換を行ない、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録は日々の様子や気づき等を細かく記入している。介護計画作成時には、活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	往診の際の主治医と家族の橋渡し。ご家族同伴の受診ができない時には職員が同行する		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事の際、ボランティアをお願いしている。消防訓練を定期的に行っている。書道を月2回教えて頂いている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との関係を築きながら本人や家族の希望を受け入れている	入居時に利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をさせていただいている。専門医等かかりつけ医の計画的な受診は家族対応を基本としているが、その他は職員による対応で、適切な医療を受けられるよう支援されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回看護師が訪問し、体調等の変化があった時には報告している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関へ入院した時は、情報交換や相談に努めている(ソーシャルワーカー)		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期のあり方については、家族に説明し方針を考えて頂く。重度化した場合は、かかりつけ医と家族と話し合い理解して頂き方針を考える。かかりつけ医の回診時に必要な指示を仰ぐ	入居時に重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意志統一を図られている。その後の対応も早い段階から話し合いを行ない、意志確認を進めながら、希望に沿った最大限のケアに向け取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修を受けている。緊急時の対応は、いつも見えるところに掲示し、職員は周知している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っている。同法人施設から援助も可能である。災害時相互援助協定書をかわしている	地震・風水害など災害種別マニュアルが整備されるほか、年2回の避難訓練を実施し、夜間の発生を想定しての訓練と地域合同訓練にも取り組まれている。又、地域自治会との災害時援助協定が取り交わされ、協力体制も整備されている。	火災のほか、地震・風水害などの災害時にも昼夜を問わず、利用者が安全に避難できる方法を全職員が身につけることが必要であり、一部避難訓練は実施されているが、災害種別ごとの通報・避難訓練などの継続的な取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者にあった言葉かけをし、馴染みの関係を築いているが、人生の先輩であるという事を念頭に置き、言葉使いには十分に気を付ける	利用者の人格を尊重した対応と個人情報の責任ある取り扱い、排泄や入浴時の羞恥心に対する配慮などきめ細かな対応がとられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で入居者の思いを傾聴している。本人の意見を尊重しながら日常生活を支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望に添いながら本人の生活ペースで過ごせるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度訪問の理容師に行きたく方が多い。希望の店がある方は、ご家族が連れて行かれている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人差はあるが、野菜の皮むき・食器洗い拭きなど、職員と一緒にやっている	利用者個々の力に合わせ、食事の準備や後片付けを職員と共に行っている。また、利用者の希望に沿い、寿司や蕎麦などの外食やおはぎ等、手づくりおやつを職員と共に楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事量の摂取量を把握している。一人ひとりの好みや飲み状態に応じて支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを本人の状態に応じて行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンをつかみ記録に残し次回のトイレ誘導につなげている	一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行い、トイレでの排泄や自立にむけた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を記入し把握している。便秘が続くときは、原因を考え水分量や運動に気をつけ主治医に相談する		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	現在一人で入浴されている方はいない為、職員体制がとれる時間帯に入浴介助を行っている。現在の所、曜日が決まっていることで、入浴しているという安心感をもたれている方が多い	入浴日と時間は設定されているが、できる範囲で利用者の希望に沿い、入浴されるよう取り組まれている。時には、気の合う利用者同士と一緒に、大きな湯船で長湯されるなど、入浴時間を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室には、馴染みの物を置き安心して頂けるよう配慮されている。休みたい時は、自由に休まれている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の名前、用法、用量の写しがあり閲覧できる。服薬の支援は行っている。変更がある時には、申し送りをし観察している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の趣味や楽しみ事を把握し支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、散歩・外気浴を行っている。お花見や外食も希望を聞き行っている	日課の散歩のほか、庭園やテラスでの外気浴、日用品の買い物など日常的に外出支援をされている。また、季節ごとのお花見や外食など、利用者の希望を尊重した取り組みが行なわれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持っている方はいない。希望に応じて、使えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話で連絡がしたいときは、事務所の電話を利用している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温・音などきめ細かく配慮している。行事の写真や季節を感じる事が出来る作品を掲示している	利用者にとって不快や混乱を起こさぬよう、室温・音などきめ細かな配慮がとられている。また、季節感ある貼り絵や折り紙、楽しい思い出の写真などが飾られ、明るく清潔感のある共用空間づくりがなされている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子を所々に置き工夫している。利用者同士の席位置に配慮している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や馴染みの物を持ち込まれ、入居者が居心地良く過ごせるよう工夫している	家族の写真や仏壇・位牌、馴染みの机や椅子、寝具などが持ち込まれ、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・浴室・洗面台・トイレには、手すりを設置している。居室入口には表札をかけている		

(別紙4(2))

事業所名 シニアレジデンス つばき

目標達成計画

作成日: 平成 23年 5月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の安全確保	備蓄品の確認	非常食の賞味期限を確認	6ヶ月ごと
2	35	災害時の安全確保	備蓄品の確認	必要な物・持ち出す物を検討	3ヶ月
3	35	災害時の安全確保	職員の連絡方法の確保	NTT伝言ダイヤルの利用を職員に周知する。	3ヶ月
4	35	災害時の安全確保	災害別に避難訓練	避難経路・場所の確認	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。